

小平市公共施設マネジメントニュース

令和3年2月号

「(仮称) 小平第十一小学校の更新等に関する基本計画」策定に向けた 小平第十一小学校へ複合化する公共施設の利用者・利用団体ヒアリングを開催しました

小平第十一小学校は、1967年に建築され、建物の老朽化が進んでいることなどから、建て替えることを決め、新しい小平第十一小学校に関する基本計画を令和3年秋頃までに策定する予定です。

「(仮称) 小平第十一小学校の更新等に関する基本計画」策定にあたり、令和2年9月に、周辺施設である花小金井北公民館、花小金井北地域センター、十一小学童クラブを複合化する方向性を示しました。このたび、新しい地域コミュニティ施設として、これらの機能を小学校へ複合化するうえで、現在の施設で活動している利用者の方を対象にヒアリングを開催し、延べ35名の参加をいただきました。

ヒアリングでは、新しい地域コミュニティ施設においても活動が継続できるように配慮すること、また、地域コミュニティの醸成を見据え、地域住民が主体的に活動を行い、多様なコミュニティが集まり連携していくことができる施設づくりを目指すことを目的とし、小学校へ複合化されるにあたって期待する点や考慮すべき点等について、ご意見をお聞きしました。

さらに、新しい地域コミュニティ施設へ更新することを踏まえ、地域自治の推進に関する利用者（地域住民）の意識を把握するためにヒアリングを行いました。

【開催日等】

- ① 令和2年12月11日（金）
15時00分から16時30分
場所：花小金井北公民館
参加人数：20名
- ② 令和2年12月14日（月）
10時00分から11時30分
場所：花小金井北地域センター
参加人数：9名
- ③ 令和2年12月15日（火）
18時30分から20時00分
場所：花小金井北公民館
参加人数：6名



花小金井北公民館(12/11)でのヒアリングの様子



設問①：現施設で利用しやすい点、残したい点

- ・備品等を置いておける倉庫やロッカーがあるとよい。(公民館)
- ・現状程度の部屋の広さは確保してほしい。(公民館・地域センター)
- ・高齢者が多く、備品を運んだりするため、駐車場が必要。(公民館・地域センター)
- ・ヨガ、ストレッチ体操等、床に寝転んで行う活動があるため、和室があるとよい。(公民館・地域センター)
- ・複合化により、利用団体が増え、貸し部屋の予約が取りづらくなると困る。(公民館・地域センター)
- ・お祝い会等で利用するため、飲食可能な運用を残してほしい。(地域センター)
- ・学習や勉強会を通し、仲間とともに同じ目標に向かって学べる点がよい。学習の場は確保してほしい。(公民館)

設問②：小学校へ複合化されるにあたって期待する点

- ・PTA等の保護者の活動と公民館の活動がリンクすることで、若い人が公民館の活動に入ってきてくれるとよい。
- ・児童が地域の大人と知り合うことで、あいさつ等、地域とのコミュニケーションが増えることを期待する。
- ・地域と学校との交流になると同時に、下校時の地域の目も加わることで、防犯にも繋がると思う。
- ・青少対とは交流があり、青少対のイベントで紙芝居を披露したことがある。小学校の授業でも紙芝居を披露できるなど、活動の幅が広がることを期待している。
- ・就学前に手提げかばん等のグッズを作ってみようという企画をしたことがあるが、参加がなかった。小学校と一緒になれば、参加しやすくなるのではないかと期待する。
- ・学童保育が終わった児童等が、地域のサークル活動を見ることができるので、児童の興味が湧くのではないか。
- ・核家族が多いため、高齢者と子ども達が交流できる機会となるとよい。
- ・未就学児が日頃から十一小の場に通うことで、小学生になる時もスムーズに安心して通いやすくなると思う。
- ・公民館まつりや青少対まつり等ですでに小学校とは交流がある。複合化により、交流の仕方も密になり良いものになっていくという期待がある。子どもも大人も互いを覚えて、交流が地域自治に繋がるとよい。
- ・小学校の特別教室の地域開放について期待している。現在ない機能であるため、土日のみでも嬉しい。
- ・避難所機能等、防災機能をしっかり確保してほしい。

設問③：小学校へ複合化されるにあたって考慮すべき点



- ・児童の安全面の確保に十分配慮してほしい。
- ・地域に開かれた学校が求められつつも、子どもの防犯面が気になる。分ける所は分けて、見守る所は見守れる施設がよいと思う。
- ・地域コミュニティ施設の利用者の入口は、小学校児童の入口と分けた方が、防犯上、児童の安全面でよい。入ってくる人、帰る人をチェックできれば、ある程度の安全は保てるのではないか。
- ・セキュリティの観点から、利用時間の整理等、運用のルールを決める必要がある。
- ・地域コミュニティ施設には駐車場が必要だが、小学校としては危険があるので、安全な動線の検討が必要ではないか。
- ・教育活動の支障にならないような造りが必要。サークル活動で演奏をしたり、音楽をかけるので、音漏れ、防音が気になる。

設問④：子どもたちや地域のためにできること（地域自治の推進の観点）

- ・放課後子ども教室で、地域の人の特技を活かすことで、地域力を還元できる。
- ・他の地域の団体とコラボレーションすることで行事を盛り上げ、地域を元気にする。
- ・青少年の健全育成という活動理念から、子ども達を中心に多世代にわたって活動している。地域貢献などへの要望があれば、お手伝いする。
- ・地域の大人が利用しつつも、子ども達の居場所にもなるような施設になってほしい。
- ・放課後子ども教室の企画は、保護者がメインとなっているため、公民館や地域センターのサークルの人が関わるようになると嬉しいし、子ども達も学校からすぐに参加できると嬉しいと思う。
- ・小学校、公民館、地域センターは避難場所であるため、防災についても一緒に考えられるのではないか。



花小金井北地域センターでのヒアリングの様子



花小金井北公民館(12/15)でのヒアリングの様子



【お問合せ】 小平市 企画政策部 公共施設マネジメント課
〒187-8701 小平市小川町 2-1333
TEL.042-346-9557 FAX.042-346-9513
メールアドレス facility-mg@city.kodaira.lg.jp